

平成30年度事業報告書

公益目的事業

公1. 誘致活動事業

I. 観光客誘致拡大事業

旅行会社の商品造成担当者、雑誌編集者、放送関係者等の招聘や主要協定旅館連盟の助成事業を通して、本市への観光客誘致対策の強化を図ることで誘客効果を高め、観光PRの促進と旅行商品の造成及び情報発信等に努め、更なる誘客を図った。また、本市で開催される誘客可能なイベントと連携し宿泊増に繋がる旅行商品の造成をはじめ、周辺地域と連携した観光素材の充実に努めた。

1. 主要旅行代理店集中送客宣伝事業

主要旅行代理店及びキャリアが実施する集中送客キャンペーンを助成し、観光客誘致拡大に努めた。

補助実績：9件

2. 主要協定旅館連盟助成事業

協定旅館連盟の会員が県外に対して実施する観光誘致キャンペーンの経費の一部を補助する事により観光PR及び情報発信に努めた。

補助実績：3件

3. 旅行代理店・旅行雑誌編集者等の招待事業

宮崎市への誘客や情報発信に繋がる各種団体のキーマンを招聘。招聘に際しては、経費の一部を補助する事で旅行会社の商品造成やイベント等への誘客促進を図った。

補助実績：3件

4. 主要イベント連携事業

宮崎市内で宿泊客の誘因に繋がるイベントと連携を図り、市内宿泊施設に宿泊すると様々な特典が付与されるプランを宿泊施設よりネット販売し誘客に努めた。

- (1) 夏季に開催された「AOSHIMA BEACH PARK」「みやざきグルメとランタンナイト」「まつり宮崎」「みやざき青島国際ビールまつり」の4件のイベント認知を高め、誘客を図るためにプロモーションを実施。

8月1日～8月31日の期間中、対象の商品で宮崎市内の対象宿泊施設に宿泊した方に上記4件のイベント会場で使用できる500円金券を付与。

参画宿泊施設：19施設 集客実績：528名

イベント会場への着券実績	AOSHIMA BEACH PARK	196名
	みやざきグルメとランタンナイト	217名
	まつり宮崎	8名
	みやざき青島国際ビールまつり	107名

- (2) 毎年10万人を超える集客のあるフローランテ宮崎で開催されるイベント「2018イルミネーション・フラワーガーデン～ひかりの花園～」と連携を図った。

12月7日～1月14日のイベント期間中に、対象の商品で宮崎市内の対象宿泊施設に宿泊した方にイルミネーションイベントの入園券を付与。

参画宿泊施設：16施設

集客実績：480名

II. 教育旅行支援事業

1. 教育旅行誘致補助事業

平成22年に発生した口蹄疫等の影響で、全国からの修学旅行生が減少したため、宮崎教育旅行誘致受入協議会が中心となり誘致活動を行ってきたが、更なる誘致受入の強化を図るため、平成28年度より(公財)みやざき観光コンベンション協会(現:(公財)宮崎県観光協会)が、事務局となり宮崎県教育旅行誘致推進協議会を発足。これまで以上に、みやざき元気体験プログラムを中心とし、更なる受入体制の充実を図った。

平成30年度は、9月の北海道地震の影響により九州方面へコース変更となった学校があり、これまでになかった中部地区の高校が2校訪れた。

期 間：平成30年4月1日～平成31年3月31日(令和3年度まで継続事業)

内 容：補助金1人上限5,000円/宿泊補助(1人3,000円)体験補助(1人上限2,000円)

(1) 誘致対策の推進

○セールス

①南九州地区修学旅行素材現地研修会

期 日：平成30年7月18日・7月25日

主 催：宮崎県教育旅行誘致推進協議会

内 容：宮崎の素材・体験メニュー説明・現状の聞き取り等

②九州7県合同修学旅行説明会・相談会

期 日：平成30年8月2日

主 催：(一社)九州観光推進機構

内 容：宮崎の素材・体験メニュー説明・現状の聞き取り等

③第20回南九州修学旅行誘致受入対策

期 日：平成30年8月27日

主 催：宮崎県教育旅行誘致推進協議会

内 容：各旅行会社修学旅行の現状・今後の誘致施策

④関西地区教育旅行セールス

期 間：平成30年10月11日～12日

主 催：宮崎市

内 容：関西地区の学校を訪問し宮崎の素材・体験メニュー説明・現状の聞き取り・相談会

○視察・招聘関係

【学校による教育旅行現地視察(下見)】

①大阪市立東生野中学校 教育旅行現地視察

期 日：平成30年8月13日

旅行会社：(株)阪急交通社 教育旅行センター

②神戸市立雲雀ヶ丘中学校 教育旅行現地視察

期 日：平成30年8月17日

旅行会社：(株)日本旅行 兵庫教育旅行支店

③春日市立春日野中学校 教育旅行現地視察

期 日：平成30年8月20日

旅行会社：(株)JTB福岡支店

④大野城市立大野中学校 教育旅行現地視察

期 日：平成30年8月24日

旅行会社：近畿日本ツーリスト(株) 福岡教育旅行支店

⑤交野市立第一中学校 教育旅行現地視察

期 日：平成30年9月16日

旅行会社：近畿日本ツーリスト(株) 大阪教育旅行支店

⑥大阪府立阪南高等学校 教育旅行現地視察

期 日：平成31年3月28日

旅行会社：(株)エイチ・アイ・エス 大阪教育旅行営業所

○ (一社)九州観光推進機構主催事業・(公財)みやざき観光コンベンション協会主催事業への協力
【(一社)九州観光推進機構・旅行会社による教育旅行現地視察(下見)】

①台湾教育関係者宮崎県教育旅行現地視察

期 間：平成30年11月24日～27日

②旅行会社教育旅行担当者現地研修会

期 間：平成31年2月25日～27日

③関西地区学校関係者現地研修会

期 間：平成31年3月24日～25日

(2)受入対策の推進

①体験学習受入対応

受 入 数：12校 1,776名

(3)平成30年度実績

補助事業

宿泊補助：19校 2,541名 (引率・生徒合計) ※人数前年比127.6%

補 助 額：7,634,988円

体験補助：12校 1,776名 (引率・生徒合計) ※人数前年比120.1%

補 助 額：3,246,888円

補助金計 10,881,876円 (前年比127.5%)

III. 観光情報発信事業

各種媒体や団体と連携を図り本市観光の魅力为全国に発信し、誘客を促進するためのキャンペーンを実施した。本市で開催されるイベントや観光情報を幅広く発信し、宮崎への旅の動機づけを喚起させ来訪の促進に努めた。また、ニシタチの知名度向上に努め、個人をターゲットとしたソーシャルメディアを活用した情報発信等、近年多様化する観光客のニーズを的確に捉えた戦略的な観光誘客と効果的な事業の展開を図った。

1. 観光リゾート情報発信事業

(1) 情報発信事業 (関東地区情報発信 中部地区情報発信 九州地区情報発信)

①関東地区情報発信

1) 関東地区誘致セールス

期 間：平成30年5月1日～2日、5月21日～22日

平成30年10月19日～20日

訪問先：10社

内 容：各旅行会社にみやざきゴルフパラダイス、フラチーム誘客を図るためのセールス等を実施し、商品造成に繋げた。

2) メディアの活用

A) 新 聞

掲載媒体：日刊スポーツ新聞

掲 載 日：平成30年11月19日

内 容：日刊スポーツ全国版と取材・広告としてタイアップし、宮崎市で、3つのゴルフトーナメントが開催されるゴルフ環境の良さと魅力を掲載。「みやざきゴルフパラダイス」の情報発信に努めた。

B) テレビ

・プロ野球キャンプ期間中に日本テレビの番組とタイアップし、青島神社やニシタチ、ジャイアンツのキャンプ地など幅広い取材を通して情報発信に努めた。

○番組名：NEWS ZERO・ズームインサタデー (日本テレビ)

○番組名：徳光和夫の週刊ジャイアンツ (日テレG+)

- ・テレビ東京と連携し、全国に向け「食」「ニシタチ」「スポーツ」の情報発信を行った。
- 番組名：「忘却のサチコ」（テレビ東京）
 - 内 容：高畑充希・早乙女太一・温水洋一などが出演した人気のドラマの6話・7話目を宮崎編として、「青島」「ニシタチ」「一ツ葉」の撮影が行われた。ロケの支援などを行い、情報を発信した。
- 番組名：秘密のケンミンSHOW（読売テレビ）
 - 内 容：番組と連携し取材等の協力を行い、「鳥の炭火焼き」と「チーズ饅頭」を特集。2回に分けて宮崎「食」のPRに努めた。
- 番組名：RAKUGO NIPPON!～MIYAZAKI～（NHKワールド）
 - 内 容：九州の落語旅・第1弾として宮崎の魅力を15分番組でロケ及び地上波とWEB放送を行った。

3) プロモーション活動

A) 「ひなたのチカラ」物産・観光フェア

当協会と連携協定を結んでいる東京海上日動火災保険(株)とタイアップし、宮崎観光物産展を実施。期間中は、観光パンフレットの配布や物産ブースの設置販売、観光PRを行った。

また、同社は、昨年500名のインセンティブ旅行を宮崎市で開催された実績もあることから、同社の役員等を表敬訪問し宮崎市のアピールに努めた。

期 間：平成30年12月13日～14日

場 所：東京海上日動火災保険(株)本社 東京丸の内

主 催：東京海上日動火災保険(株)

協力団体：(公社)宮崎市観光協会、(一社)日南市観光協会、(一社)都城観光協会、(一社)延岡観光協会、小林まちづくり協議会、都城圏域地場産業振興センター、東京海上日動火災保険(株)、雲海酒造(株)、霧島酒造(株)、(株)正春酒造、神楽酒造(株)

B) 「新宿プロモーション」新宿みやざき館KONNE

プロ野球宮崎キャンプへの誘客を目的として、ジャイアンツの選手も出演し観光プロモーションを行った。多くの来場者が訪れ大いに賑わった。

期 間：平成30年12月15日～16日

場 所：新宿みやざき館KONNE

②中部地区情報発信

1) 中部地区セールス

期 間：平成30年7月12日～13日

訪問先：4社(ANAセールス(株)中部支社、(株)JTB中部事業部、名鉄観光サービス(株)、クラブツーリズム(株))

期 日：平成31年3月12日

訪問先：3社((株)JTB中部事業部、名鉄観光サービス(株)、クラブツーリズム(株))

内 容：旅行会社を訪問し宮崎市の観光素材を提案し商品造成に繋げた。

また、次年度以降のプロモーションを行うための情報収集に努めた。

③九州地区情報発信

宮崎市で行われる「AOSHIMA BEACH PARK」「みやざきグルメとランタンナイト」「みやざき青島国際ビールまつり」の各種イベント及び「みやざき元気体験」「宮崎で遊ぼうクーポン」等をセールスツールに、宮崎県や地元企業の出先機関と連携し誘致宣伝活動を実施した。

1) プロモーション活動

○福岡地区サマープロモーション

西鉄グループや福岡ソフトバンクホークス、福岡地区マスコミと連携し、福岡市天神地区にて夏季イベントのプロモーションを実施。

期 間：平成30年6月12日～13日

場 所：西鉄天神駅周辺

内 容：天神地区ビジョン及びデジタルサイネージでの観光PR動画の露出
西鉄天神駅中央改札でのチラシ等3,000部サンプリング
在福マスコミ「FBS福岡放送」「KBC九州朝日放送」等での番組出演
(テレビ5媒体、ラジオ2媒体、新聞8媒体にて実施)

2) キャンペーンの実施

○北部九州集中キャンペーン

福岡・大分地区のTV局が制作する生活情報番組の中で、宮崎のスポーツキャンプや食、観光施設の情報発信を行った。また、情報発信に併せ、旅行商品を設定し具体的な集客策に努めた。

- ・OBS大分放送「かぼすタイム」と行くホークス応援ツアー 参加者約 40名
- ・KBC九州朝日放送「アサデス。」と行くホークス応援ツアー 参加者約500名
- ・RKBラジオ・MRTラジオ合同企画キャンプ地から生放送

(2) 旅行雑誌等への広告掲載

宮崎の観光情報及び広告を「まっふる情報誌」「温泉博士」「みちくさ」「るるぶ」等に掲載した。

主に夏のイベント情報の露出を強化し宣伝に努めた。

(3) 新聞等への広告掲載

年間を通して当協会の主要事業及び観光情報について、各新聞(朝刊)スポーツ紙に掲載。スポーツイベント情報を中心に露出を強化し宣伝に努めた。

掲載紙：読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、スポーツ報知、日刊スポーツ新聞、宮崎日日新聞等

(4) ソーシャルメディアを活用した情報発信

○各種SNSを活用した観光情報発信

①プロ野球3球団(ジャイアンツ、ソフトバンク、オリックス)連携公式SNSの開設による情報発信

期 間：平成31年1月～キャンプ終了まで 計14回発信

内 容：Facebook、Twitterでのプロ野球3球団関連の情報発信

実 績：Facebookフォロワー 104名(動画再生回数 10,703回)

Twitterフォロワー1,800名(メディア再生回数 159,510回)

②野球専門YouTuber トクサンTVの招聘による観光情報の発信

期 間：平成31年3月2日～(動画4本を公開)

取材内容：球春みやざきベースボールゲームズ、青島・堀切峠
宮崎グルメの紹介(地鶏、釜揚げうどん)

実 績：動画総再生回数 1,254,608回(動画4本)

(5) 福岡ヤフオクドーム観光情報発信事業

福岡ヤフオクドームの野球観戦者に対して、福岡ソフトバンクホークスキャンプ地宮崎市の観光情報をホークスビジョンにて放映し、視覚的な効果を図りながら観光客誘致を推進した。

期 間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

内 容：ホークス主催公式戦の際、ヤフオクドーム内ホークスビジョン及びテレビモニターにおいて、球場来場者に宮崎市の「食・自然・神話」をコンセプトにしたCMと、「手ぶら観光」のCMを放映し情報発信を行った。

(6) 京セラドーム大阪観光情報発信事業

京セラドーム大阪の場内看板と外部向けビジョンにおいて「キャンプ地みやざき」の観光情報を掲出・放映し情報発信を行った。

期 間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

内 容：プロ野球公式戦や音楽ライブの来場者にビジョンや看板を利用して広報活動を行った。

3月～5月 みやざきフラワーマンス

6月～8月 みやざきグルメとランタンナイト

9月～10月 みやざきフェニックス・リーグ

11月～1月 みやざきゴルフパラダイス

2月 プロ野球キャンプ

(7) 関西誘客プロモーション事業

神戸フェリー・LCC就航・東九州自動車道開通など交通網の充実を契機に、本市の認知度向上と更なる観光誘客を図るため、関西エリアをターゲットに戦略に基づく情報発信・プロモーションを展開。旅行商品造成支援として関西の旅行会社等に対し、宮崎市中心部の宿泊施設の利用促進を図り旅行需要を喚起するため、1人1泊あたり2,000円の宿泊補助、カーフェリー補助を行った。

当初の宿泊集客目標は、5,000名泊であったが、6,078名泊となった。

①各種キャンペーン・旅行商品造成等

1) ニシタチキャンペーン

宮崎市観光協会特設ページや、るるぶトラベルサイトからニシタチクーポンを取得した方を対象に宮崎市内の対象宿泊施設に割引で宿泊できるプランを実施。

期 間：平成30年4月9日～平成31年1月31日

宿泊実績：1,839名泊

2) 宮崎で遊ぼうキャンペーン

宮崎で遊ぼうクーポン付宿泊プラン・カーフェリーの宿泊補助・レンタカー補助プランを実施。JTB・HIS国内企画旅行の商品として展開。

商 品 名：①わいわいファミリー「まるごと遊べる九州」②「南国リゾートを自由に楽しむ」

期 間：①平成30年6月1日～9月30日 ②平成30年5月23日～平成31年3月15日

宿泊実績：1,170名泊

3) スポーツ合宿等キャンペーン

アマチュア団体のスポーツ・文化系合宿等への宿泊補助。

期 間：平成30年4月1日～平成31年1月31日

宿泊実績：1,738名泊

内 訳：(株)ヤングリゾート1,131名泊／(株)日本ツーリスト607名泊

4) 中高齢者・家族連れを対象とした旅行商品の造成

広域周遊西都・神宮・青島・日南・別府・霧島・青島温泉／高千穂・日向・青島

期 間：平成30年9月2日～平成31年1月31日／平成31年3月9日～3月17日

旅行会社：(株)読売旅行、(株)阪急交通社

宿泊実績：964名泊

5) オリックス・バファローズ春季キャンプ応援見学ツアー

宮崎カーフェリー(株)を往復利用した応援見学ツアーの商品造成支援。

期 間：平成31年2月1日・8日・15日・22日・23日・3月1日発

集客実績：367名

②プロモーション活動

1) 神戸まつり

観光ブースにおいて、宮崎サンシャインレディ・ミッシちゃんによるPR及びサンプリングを実施。パレードにも参加し宮崎カーフェリーを通して、宮崎市と神戸市との連携及びPRに努めた。

期 日：平成30年5月16日

場 所：兵庫県神戸市三宮駅周辺

2) 神戸みなとまつり

出店ブースでうちの配布や特産品の当たる抽選会、旅行商品の告知を実施。夏の宮崎イベントのPRに繋がった。

期 間：平成30年7月15日～16日

場 所：兵庫県神戸港 メリケンパーク

3) キャンプ地みやざきDAY in 大阪・神戸

宮崎市でキャンプを行う、セレッソ大阪、オリックス・バファローズのホームである大阪で、ステージイベント、抽選会等、宮崎の「食」「スポーツ」等の魅力を発信した。

期 日：平成30年12月8日

場 所：大阪府大阪南港ACT

4) キャンプ地みやざきDAY in 神戸ルミナリエ会場

2月のキャンプシーズンに向け、1日あたり40万人近くの集客のある、ルミナリエ会場で、抽選会、観光パンフレットの配布、宮崎の「食」「スポーツ」の魅力を発信し、観光誘客を図った。

期 日：平成30年12月9日

場 所：兵庫県神戸市神戸ルミナリエ会場

(8) ニシタチ誘客プロモーション事業

「ニシタチ」の更なる知名度UPを図るため、メディア等と連携したプロモーション、タレントの発信力を活用した情報発信など、全国に向けて広く「ニシタチ」を周知し観光誘客に努めた。

また、当協会及び旅行会社宿泊予約サイトで販売する「ニシタチ」旅行商品の販売促進を図り宿泊者数の増加に努めた。

①宮崎市ニシタチ大使

県内外においてニシタチをPRすべく、全国スナック連盟の会長でタレントとして知名度の高い玉袋筋太郎氏を“ニシタチ大使”として任命し、ニシタチのPRや情報発信を行った。

被委嘱者：玉袋 筋太郎 氏（通称 玉ちゃん）

委嘱期間：平成30年5月26日～平成31年3月31日

<委嘱式>

期 日：平成30年5月26日

場 所：雨天の為、バージニア・ビーチ広場からスナック夕鶴にて実施

②地元イベント「ニシタチ焼酎楽しまNIGHT」における販促創出と集客対策の実施

期 日：平成30年7月21日

場 所：中心市街地（一番街アーケード モナコセンター前）

主 催：ニシタチまちづくり協同組合

③ニシタチ宿泊キャンペーンの実施（宿泊プラン及び旅行商品の造成）

1) 宮崎市観光協会特設宿泊サイト利用キャンペーン

宮崎最大の繁華街「ニシタチ」を中心とした観光PRを実施し、中心市街地活性化と県外からの観光誘客を図るため宿泊補助キャンペーンを実施。

当協会の宿泊予約サイトを通じて予約することで、先着1,000名に1泊限定2,000円の宿泊補助を行った。

期 間：平成30年4月11日～9月30日

実 績：218名泊

2) JTB（るるぶトラベル）宿泊キャンペーン

期 間：平成30年5月29日～平成31年1月31日

実 績：317名泊

(9) 「宮崎で遊ぼう」観光地誘客促進事業

個性的で特徴ある観光資源の素材磨きを図り、他市町とも広域的に連携し、体験メニューを開発し観光施設等と連携したクーポン「宮崎で遊ぼうクーポン」を作成。大手旅行会社と連携した広告宣伝を行い、宮崎のブランドイメージと地域間の周遊性を向上させた。本商品を販売することで誘客促進を図り、宿泊客増に努めた。

①「宮崎で遊ぼうクーポン」の販売

約100種類の各アクティビティをお得に利用できる2,000円の10枚綴りクーポンを開発・販売。参画施設では旅行形態やシーズンリティに応じた宮崎グルメやアクティビティの4市3町の36施設で広域展開を図ることで県内各自治体との連携を図った。

各旅行会社の認知度は年々向上しているため、今後の宮崎への商品造成や誘客素材としても期待ができる。

1) 宮崎で遊ぼうクーポン実績

参画市町村：4市3町（宮崎市・西都市・串間市・えびの市・国富町・高千穂町・綾町）

参画施設：36施設

アクティビティ数：92種類

メニューの期間：平成30年4月10日～平成31年3月31日

販売価格：1冊2,000円（10枚綴り）

販売冊数：5,206冊（前年度 5,372冊 前年比96.9%）

利用実績：28,600枚（前年度 45,742枚 前年比62.5%）

2) プロモーション活動

○WEB

宮崎市観光協会ホームページ上にスマホ対応の特設ページを常設

「宮崎で遊ぼう」クーポン利用方法・モデルコース動画の掲載

○印刷物

クーポン印刷 12,000冊 専用パンフレット 20,000枚 ポスター 50枚

○旅行商品とのタイアップ

・ANAセールス(株)

商品名：旅ドキ九州（羽田・成田発）

設定期間：平成30年4月1日～10月31日

平成30年10月1日～令和元年5月31日

・(株)ジャルパック

商品名：紀行倶楽部九州（東京発）

設定期間：平成30年6月15日～11月24日

商品名：紀行倶楽部九州（北海道・大阪発）

設定期間：平成30年6月15日～11月24日

・(株)JTB

商品名：宮崎で遊ぼう！（九州発）

設定期間：平成30年4月1日～9月30日

商品名：お手頃価格！！宮崎で遊ぼう！！（九州発）

設定期間：平成30年10月1日～平成31年3月31日

・近畿日本ツーリスト個人旅行(株)

商品名：得旅 気ままに九州（首都圏発）

設定期間：平成30年4月1日～9月30日

商品名：ぐるっと九州（首都圏発）

設定期間：平成30年10月1日～平成31年3月31日

・(株)日本旅行 赤い風船西日本事業部

商品名：大バーゲン九州（首都圏・仙台・新潟・新千歳発）

設定期間：平成30年4月1日～10月31日

商品名：大チャンス九州（首都圏・仙台・新潟・新千歳発）

設定期間：平成30年10月1日～令和元年5月7日

・九州旅客鉄道(株)

商品名：極上の列車の旅

設定期間：平成30年10月1日～平成31年3月31日

2. インバウンド関連事業

(1) 観光インバウンドプロモーション事業

海外からの誘客効果を高めるため、本市への定期便が運航する韓国・台湾・香港等を中心に積極的なセールスプロモーションを行い、誘致宣伝に努めた。

（※香港航空は、平成30年10月28日から運休）

○キャンペーン他

①香港ホンタイ旅行社による本県視察の受入

香港からの海外ウエディング担当者を招聘し視察対応を行った。

期 間：平成30年4月16日・18日

②Jetstarとタイアップしたオーストラリアマーケットへのアプローチ

フライ&アクティビティプロジェクトとして「成田→宮崎」線における新しいマーケット（サーファー）へのアプローチを行い誘客に努めた。

○セールス等

①台湾

1)セールス

期 間：平成30年6月10日～13日

内 容：宮崎観光商談会の参加及び、台中、台南の旅行会社へ訪問

現地旅行会社：31社

参加者：17名（(公財)みやざき観光コンベンション協会、(公社)宮崎市観光協会、
宮交ホールディングス(株)、フェニックスリゾート(株)を含む13団体)

2)セールス

期 間：平成30年11月8日～11日

内 容：「MIYAZAKI ENJOY TICKET」主要販売旅行会社への販売促進セールス

訪問先：4社（雄獅子旅行社、日紳旅行社、創造旅行社、汎佳旅行社）

参加者：3名（宮崎市、(公社)宮崎市観光協会）

3)セールス

期 間：平成31年2月20日～23日

内 容：「MIYAZAKI ENJOY TICKET」新規参画旅行会社への販売促進セールス

訪問先：5社（雄獅子旅行社、富士雲旅行社、飛鳥国際旅行社、華旅旅行社、汎佳旅行社）

参加者：2名（宮崎市）

②韓国

1)セールス

期 間：平成30年6月6日～9日

内 容：韓国旅行会社及びKBO韓国プロ野球チームの誘致セールス

訪問先：4社（アジアナ航空(株)、ハナツアー博覧会、KBO球団）

参加者：4名（(公社)宮崎市観光協会、宮崎県ホテル旅館衛生同業組合）

③香港

1)セールス

期 間：平成30年5月16日～19日

内 容：主要旅行会社へ「MIYAZAKI ENJOY TICKET」販売促進セールス

訪問先：8社

参加者：6名（宮崎県、宮崎市、宮崎県ホテル旅館生活衛生同業組合、(公社)宮崎市観光協会）

2)セールス

期 間：平成30年9月26日～29日

内 容：香港航空の宮崎～香港間定期便廃止に伴い、引続き宮崎への送客をセールス

訪問先：8社

参加者：6名（宮崎県、(公財)みやざき観光コンベンション協会、(公社)宮崎市観光協会、
宮崎交通(株)、ANAホリデイ・インリゾート宮崎）

④中国

1)中国山東省青島市セールス

期 間：平成30年6月27日～29日

内 容：青島市旅遊局との交流及び旅行会社へのセールス

訪問先：万達国際旅行社

参加者：3名（(公社)宮崎市観光協会）

(2)外国人誘客みやざきモデル事業

韓国・台湾・香港の旅行会社と連携し、「ニシタチ」を中心とした市街地で利用できるクーポン「MIYAZAKI ENJOY TICKET」を付与し街中への誘客を図り、外国人旅行者のリピーター増に努めた。また、南九州で広域連携を図り、タイから南九州エリアを周遊する旅行商品を造成し、更なる誘客に努めた。また、宮崎県とANAと連携し欧米豪市場をターゲットにモニターツアーの実施等を通して、旅行者のニーズを把握し旅行商品造成に繋げた。

①キャンペーン

1) 宿泊費補助

現地旅行会社が宮崎市内に宿泊する旅行商品に、1滞在2泊を限度に宿泊費の補助を行った。
実績：10,000泊（内訳：韓国2,872泊／台湾5,119泊／香港2,009泊）

2) クーポン券補助

現地旅行会社が宮崎市内の旅行商品の造成を行った場合、1滞在1人1冊を限度に中心市街地での買い物・飲食・交通において利用できるクーポン券付ガイドマップ購入費補助を行った。
販売冊数：3,952冊（内訳：韓国2,200冊／台湾1,700冊／香港52冊）

3) 広告宣伝費補助

現地旅行会社（台湾・韓国・香港）が宮崎市内への旅行商品造成を行った場合、広告宣伝に係る経費補助を行った。

4) 各種制作物

外国人旅行者向けのクーポン付ガイドマップ「MIYAZAKI ENJOY TICKET」販売促進用のリーフレットを制作した。

②南九州連携事業（九州運輸局、鹿児島県、鹿児島市、宮崎県、宮崎市）

1) Visit Japan 事業

タイ市場からの地方空港を活用した南九州PR事業を実施。タイ人のインフルエンサーを招請し、タイから南九州へのアクセス及び観光資源の向上を図る情報発信を行い、旅行商品の造成・販促を行った。

2) WEBメディア・旅行会社招聘

期間：平成30年10月23日～27日 平成30年11月6日～10日

場所：宮崎県及び鹿児島県内の観光地等

招請者：6名／ブロッガー2名、日本関連WEBサイトの専属ライター2名、現地旅行会社商品造成担当者2名

③欧米豪プロモーション

ANA・宮崎県と連携し欧米豪市場からの誘客を図るためにモニターツアーの実施や各種プロモーション・商品造成を行った。

1) モニターツアー

期間：平成30年8月7日～8日

場所：宮崎市内観光地各所やカリナリー体験など

招請者：4名（フランス人・アメリカ人・オーストラリア人）

(3) 外国人向け観光体験メニュー開発事業

宮崎市が誇る「自然」「食」「歴史や文化」「人」等の観光資源を生かし、外国人個人観光客に訴求できる宮崎ならではの観光体験メニューの開発に努めた。

①魅力発見フィールドワークの実施

第3回

期 日：平成30年8月5日／平成30年11月17日

場 所：宮崎市内

参加者：宮崎大学学生、外国人留学生、宮崎大学教授、約20名程度

内 容：宮崎大学学生、市観光戦略課の提案による観光体験メニューの試行

体験内容：青島の日の出と神社参拝（Instagram投稿）－情報発信体験

高岡 去川の大イチョウ－観光素材開発体験

宮崎獲れの食材を使った朝食作り（お粥とういろ）－食事素材開発体験

宮崎産ドライフルーツを使ったハーバリウム作り－お土産素材開発体験

②宮崎市観光体験メニュープレゼンテーションコンテストIN台湾の実施

期 間：平成30年11月8日～11日

場 所：台湾 東呉大学

参加者：(台湾)コンテストエントリー 6チーム

(東呉大学2、世新大学1、銘伝大学1、淡江大学1、真理大学1)

審査員：9名（宮崎市観光戦略課、(公社)宮崎市観光協会、宮崎市ホテル旅館組合、宮崎大学、東呉大学）

内 容：国際的視野の発展を促した文化要素の向上を図るため、若年層をメインターゲットとした、「宮崎ならではの観光体験メニュー」をテーマに、旅行需要を喚起する観光体験メニューをビジネス目線の審査によるコンテストを開催

③宮崎市観光体験メニューコンテスト最優秀コースの体験

期 間：平成31年2月13日～16日

場 所：宮崎市内

参 加 者：コンテスト最優秀チーム 東呉大学

内 容：宮崎大学と（台湾）プレゼンテーション最優秀チームとの連携を図り、コンテストで提案された「宮崎ならではの観光体験メニュー」の観光モデルコースの実施

体験内容：佐土原人形絵付け体験と現地との交流「レトロな街～若者も楽しめる佐土原」

宮崎神宮正式参拝

宮崎フルーツ（いちご）狩り体験

日の出と青島神社参拝

3. ホームページ情報事業

より広く本市のイベント情報や旬の観光情報を紹介し、観光客への利便性を考え、観光情報ページや交通アクセスページの内容更新を行った。

また、プロ野球キャンプやみやざきフェニックス・リーグ、みやざきグルメとランタンナイト、みやざきゴルフパラダイスなど多くの集客が見込める催事については、特設ページを設けアクセス数の増加と内容の充実に努めた。なお、当HP内の宿泊予約システムについては、システムの老朽化等により平成30年度で閉鎖した。

年間アクセス数：約261万件（前年度302万件 前年比86.4%）

宿泊予約サイトホテル掲載数：50カ所 予約件数：108件

対応言語：日本語 英語 韓国語 繁体字 簡体字

(1) 滞在型観光推進事業

公募型プロポーザルを行ない、専門知識を有する方とコンサルティング契約を行った。

新たな魅力ある観光コンテンツの造成や個人旅行客等をターゲットに、WEB戦略の構築を図るため、観光動向の分析や観光コンテンツを組成し、ブラッシュアップに努め、本市への観光誘客効果を高める情報発信の戦略構築を進めた。

IV. 観光資源活性化事業

県内各観光地等と連携を図りながら、「神話」や宮崎ならではの豊かな「自然」や「文化」を取り入れた本市の魅力ある観光資源を活用した事業及び新たな観光素材開発の視点から、幅広い観光客をターゲットにした誘客事業を展開した。滞在型観光の推進を図り、各観光地・施設等の情報を県外の旅行会社や観光関係機関等へPRを図りながら更なる観光資源の活性化と誘客に努めた。

1. 記紀編さん1300年記念事業

古事記編さん1300年記念の2012年から日本書紀編さん1300年記念の2020年までを記紀編さん1300年と位置づけ、「日本をはじめた神々の国 宮崎」をキャッチフレーズとした様々なPR事業や誘客事業、イベントを展開した。

(1) 観光神楽事業

青島神社 裸まいり神楽

青島裸まいり前夜祭として青島神社境内にて「神楽祭」を実施。チラシを制作し関係各所へ配布し、多くの方々に神楽の魅力を発信した。また、「青島裸まいり宿泊プラン」を造成し、特典を付与することで新規参加者の取り込みを行い、県外からの誘客に努めた。

主 催：青島裸まいり実行委員会

協 力：青島神社（公社）宮崎市観光協会

期 日：平成31年1月14日

場 所：青島神社 本殿内

参加費：無料

内容：神前神楽・青島神楽・野島神楽（演目の次第を作成し配布）

特典：青島神社「しあわせ守り」を来場者にプレゼント

宿泊プラン利用者数：20名

来場者数：95名

(2) 神話ラッピングバス事業

神話のラッピングを高速バス3台で実施し、県外への宣伝告知と話題喚起、情報発信を行った。

期間：通年

台数：3台（宮崎～福岡間1台 宮崎～大分間2台）

(3) 宮崎神宮大祭 神々のパレード事業

①神々のパレード

神武天皇より以前の19柱の神々が登場。「神武東遷」日本遺産申請に関する自治体の皆様に神々に扮していただき、「神賑行列」「日本をはじめた神々の国 宮崎」の魅力を全国へ発信するとともに、日向神話の気運醸成に努めた。

募集した神様19柱：

イザナキノミコト、イザナミノミコト、アマテラスオオミカミ、スサノオノミコト、

ツクヨミノミコト、オオヤマツミノカミ、ワタツミノオオカミ、ニニギノミコト、

コノハナサクヤヒメ、ホデリノミコト（海幸彦）、ホオリノミコト（山幸彦）、

トヨタマヒメ、ウガヤフキアエズノミコト、タマヨリヒメ、イワナガヒメ、

ホスセリノミコト、イツセノミコト（新規）、イナヒノミコト（新規）、ミケヌノミコト（新規）

期間：平成30年10月27日～28日

場所：宮崎神宮～大淀御旅所

観客数：10月27日 約60,000名

10月28日 約40,000名

神武さま広場 約30,000名

(4) 各種プロモーション

①賑わい創出事業

1) 宮崎ブーゲンビリア空港・宮崎駅に顔ハメ看板・神話の家系図を設置しPRを図った。

設置期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

2) JR九州のポケット型時刻表に神話に関する広告を掲載。

配布場所：JR九州の駅（福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、鹿児島、宮崎）

発行部数：360,000部

2. 宮崎体験旅行誘致活性化事業

(1) みやざき元気体験プログラム

宮崎の魅力を再発見してもらうことを目的に、研修会の実施や宮崎ならではの豊かな自然や伝統、文化を取り入れた魅力あるプログラムを提供し修学旅行の誘致や観光客の誘客を図った。

プログラム数：31プログラム

①みやざき元気体験プログラム意見交換会及びインストラクター研修会

期日：平成31年3月26日

参加者：10名

内容：アクティビティの体験、受入実績の報告、教育旅行の補助金について、現状と今後の課題等

(2) 受入実績

みやざき元気体験プログラム利用者数

①修学旅行：14団体 1,861名（前年度9団体 1,478名 前年比125.9%）

②個人・一般団体：166名（前年度351名 前年比47.2%）

V. 広報宣伝活動事業

観光客の誘致を推進するため、各地で開催される祭りへの参加、観光宣伝物の作成、観光名刺や機関紙等、様々なツールを活用し宮崎の観光地のイベント等、本市の魅力ある観光情報を全国に発信し宮崎への誘客を図った。

1. 宮崎サンシャインレディ観光PR事業

サンシャインレディのマナーとスキルアップの研修を実施し、観光PRのため各種イベントに派遣、SNSを活用した観光情報、イベント情報の発信を行った。また、宮崎観光親善レディについても様々なイベント等に派遣を行った。

(1) 派遣

期 間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

派遣回数：141回（宮崎サンシャインレディ137回／宮崎観光親善レディ4回）

(2) 研修

①メイクアップ研修

期 日：平成30年8月8日

講 師：今橋 さちこ 氏（宮崎山形屋シャネル美容部員チーフ）

②マナー研修

期 日：平成30年8月8日

講 師：藤田 歌子 氏（宮崎山形屋デザイナー）

(3) 情報発信

年間を通して、レディの活動や宮崎のイベント情報などSNS（Facebook）を活用した情報発信に努めた。

Facebookページフォロワー数：約1,700名

宮崎サンシャインレディ記事投稿数（平成30年度）：79回

2. 観光誘致宣伝物作成事業

(1) パンフレット、ポスター、ペーパーバッグ

観光案内所をはじめ、観光・宿泊施設、インフォメーションや観光客に配布するパンフレットやポスター等を作成し、誘致宣伝に広く活用した。

「宮崎STYLE」、「宮崎Oh!元気」、「ウォーキングマップ」は、増刷に伴い内容の修正とデザインのリニューアルを行った。また、県内外で開催される各種大会等からの依頼により、各種宣伝物の提供を行った。ポスターに関しては新しいデザインの「新・青島ポスター」を新たに作成した。

①宮崎市総合パンフレット（日本語）「宮崎STYLE」	31,700部
②宮崎市総合パンフレット（台湾・英語）「Oh!元気」	各3,000部
③宮崎市総合パンフレット（中国語・韓国語）「Oh!元気」	各2,000部
④宮崎の神話	10,000部
⑤ウォーキングマップ（日本語）	5,000部
⑥ウォーキングマップ（英語・中国・韓国）	各5,000部
⑦ペーパーバッグミッシ（小）	3,000枚
⑧ポスター（青島の日の出）	100枚
⑨ポスター（新・青島ポスター）	50枚

(2) カレンダー

宮崎市の観光を構成する「神話」「食」「観光地」全てを盛り込み、宮崎市の魅力を県内外にPRするカレンダーを作成。平成30年度は、各月に旬の宮崎食材のシルエットを用いたデザインで、シルエットの中身には、神話・食・観光などをテーマに様々な宮崎市内の写真を配置し、本市の多彩な魅力の発信の一助とした。

発行部数：1,000部

(3) 宮崎市観光イメージキャラクターグッズ制作事業

「自然」と「神話」と「食」の宝庫宮崎市のPRキャラクターの「ミッシちゃん」を通じて、宮崎の魅力を県内外に発信することを目的に、宮崎市内外で開催する様々なイベントに参加した。

派遣回数：19回

3. 誘致活動事業

宮崎市への誘客を図るため様々な団体と連携し情報交換を行うなど誘致活動に努めた。

特に、東京2020オリンピック・パラリンピックやプロ野球、プロゴルフ、ラグビーの関係者から情報を収集し、連携を密に図りながら、スポーツキャンプ等の誘致活動を行った。

4. 観光名刺印刷

魅力ある宮崎の観光地を全国に発信するため、宮崎市内の主な観光地（5種類）がセットになった名刺台紙と宮崎が誇る景勝地・青島の名刺台紙2種類の販売を行った。

販売価格：350円（100枚）

販売実績：167セット

販売場所：宮崎市観光協会事務局、宮崎市観光案内所、宮崎市庁友会

5. 機関紙

(1) 機関紙（Mコミュニケーション）の発行（年6回）

No.136（5月）・No.137（7月）・No.138（9月）・No.139（11月）・No.140（1月）・No.141（3月）

配布先：観光協会会員他

(2) 「宮崎たべてん！」作成

宮崎の特産品の紹介及び地域経済の活性化に貢献するために、9月のコブクロ結成20周年記念ライブや11月のゴルフ2大トーナメント、2月のキャンプマンス期間中、来宮した観光客を対象とした無料のクーポンブックを作成し配布。

併せてネット利用者向けに、アプリを活用しスマートフォンやタブレット端末でも閲覧できるサービスを行った。また、掲載店舗を利用しスタンプを獲得し「スポーツプラザ宮崎 JERSEY」へ持参すると宮崎の特産品やグッズなどが当たる抽選会に参加できる「グルメキャンペーン」を実施し、宮崎の食のPRと掲載店舗の利用促進を図った。

配布期間：平成30年9月15日～1月31日（秋・冬号）	発行部数	8万8千部
平成31年1月25日～3月31日（春号）	発行部数	7万部

6. まつり交流事業

各都市で開催される「まつり交流事業」に宣伝隊、宮崎サンシャインレディ、ミッシちゃんを派遣し、宮崎市の観光PRを行った。

(1) 「第17回 櫃原夢の森フェスティバル」

期 間：平成30年10月13日～14日 場所：櫃原市

(2) 「第67回 鹿児島おはらまつり」

期 間：平成30年11月2日～3日 場所：鹿児島市

(3) ミッシちゃん派遣回数1回

派遣場所：「第17回 櫃原夢の森フェスティバル」

7. 宮崎空港内看板掲出事業

宮崎ブルーゲンビリア空港の到着ロビー内のカラーコルトン看板に、宮崎の観光地を紹介し、季節に合わせたイベント等に関連した看板を掲出し、歓迎ムードを高めた。

3月～6月：「神話」「自然」「食」の宝庫 宮崎

7月～9月：サーフィン

10月～11月：みやざきゴルフマンス

12月：宮崎リゾート温泉「たまゆらの湯」・青島温泉「出愛の湯 伝説の温泉」

1月～2月：みやざきキャンプマンス

VI. 国内外観光交流事業

国内外を問わず友好盟約締結等、本市との相互交流として訪問団の派遣等を行い、本市の観光情報の発信と国内外からの観光誘客に努め、経済発展と地域の活性化に努めた。

1. 海外他友好都市交流事業

平成16年より、宮崎市観光協会と観光友好盟約を締結している中国山東省青島市旅游局より青島ビール工場の方々等を招聘し、みやざき青島国際ビールまつりや宮崎の観光資源を視察し、友好関係の構築に努めた。また、みやざき青島国際ビールまつりにあわせ交流会を実施した。

2. 観光団交流事業

(1) 宮崎市姉妹都市「樫原市」との交流

菊池会長・函師常務も参加し交流を深めた。

樫原市への観光訪問団派遣 平成30年4月8日～10日 参加者40名

(2) (一社)旭川観光コンベンション協会との友好盟約による交流

当協会の役員理事も参加し交流を深めた。

宮崎市への観光訪問団受入 平成30年12月5日 来宮者21名／宮崎側28名

公2. 観光客受入体制関連事業

I. 観光客受入事業

国内観光客や近年増加する訪日外国人向けに、観光案内等の各種サービスを提供しイメージアップに努めた。また、周辺の観光地及び施設と連携しながら、利便性、周遊性の向上を図り、観光客の滞在時間の増加と満足度の向上を目指し、受け入れ体制の充実に努めた。

1. 宮崎市観光従事者研修会

期 日：平成30年12月11日

参加者：84名

場 所：ニューウェルシティ宮崎

講 師：(株)トラベルジップ 大泉 敏郎氏

演 題：第一部「理想的な観光Webサイトのあり方と誘客活動」

講 師：アイコムティ(株) 水居 徹氏

第二部「キャッシュレス化早わかりと観光産業における経済効果」

2. 渚の交番の整備・運営事業

平成22年6月より、日本財団の支援を受け(特非)宮崎ライフセービングクラブと連携し、多くの観光客が訪れる観光地青島の「安心・安全、きれいで楽しい海づくり」を目指して、各種事業に取り組んだ。

(主な行事)

(1) 渚の交番施設視察受入

期 間：平成30年4月～平成31年3月

参加者：4件 11名(神奈川県議会、北海道石狩市役所他)

(2) 青島ビーチクリーン活動

期 日：平成30年7月15日

(3) ハロウィンキッズパレード開催

期 日：平成30年11月3日

参加者：99名

(4) 渚の交番運営委員会開催

期 日：平成30年6月16日／平成31年3月25日

3. レンタサイクル事業

KITENビル1階の「スポーツプラザ宮崎 JERSEY」にて、観光客や市民、ビジネスマン向けにレンタサイクル事業を行った。レンタサイクルの定期点検・タイヤの交換や修繕、更には、「ゆるちゃりマップ」の修正・増刷を行い、安全性・利便性の向上と利用促進に努めた。

利用状況としては、「コブクロ」のデビュー20周年記念野外ライブが平成30年9月16日に開催されたため、コブクロファンがその翌日（9月17日）に、縁の地を巡る手段としてレンタサイクルを利用したことが要因となり、利用は1日で17台、翌々日（9月18日）には13台と過去最高となった。

年間利用者数：782名（前年度648名 前年比120.7%）

4. 外国人観光客向けバスカード「VISIT MIYAZAKI BUS PASS」事業

外国人観光客の二次交通利便性向上のため、宮崎交通(株)が作成する宮崎県内路線バスが平日・週末にかかわらず1日1,500円で乗り放題になる「VISIT MIYAZAKI BUS PASS」の支援を実施した。多言語（英語、韓国語、簡体字、繁体字）のパス・パンフ・チラシ（チラシは英語・韓国・繁体字）を作成し、更なる利便性の向上と充実に努めた。

①VISIT MIYAZAKI BUS PASS

販売期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

利用枚数：21,885枚（前年度22,131枚 前年比98.9%）

販売先：宮崎市観光案内所	7,802枚
宮崎駅バスセンター	5,176枚
宮崎空港 バス案内所	1,398枚
宮崎空港 手ぶら観光カウンター	3,637枚
ANAホリデイ・インリゾート宮崎	945枚
シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート	242枚
宮崎観光ホテル	35枚
ホテルルートイン宮崎	37枚
エアラインホテル	62枚
その他宮崎交通支店機関	2,551枚

5. 観光インフォメーション管理運営事業

年間を通して宮崎県内の観光地等を案内。特に高千穂・青島・日南海岸エリア及び食事処やバス時刻の案内が多い。近年は、インバウンドの数が増加している中、平成30年度は、韓国からの観光客の利用者が目立った。また、宮崎市観光案内所では、更なる受入体制の充実に図るため初の試みとして「ばしふいっくびいなす」船内で観光案内を実施、その他にも教職員職場体験や高校生、大学生インターンシップ受入を行う等様々な活動を行った。

また、青島参道入口の青島屋内の神話・観光ガイドボランティアが常時待機するインフォメーションコーナーも年々定着しており、ガイド依頼や利用頻度も増加している。

(1) 観光案内所の運営

①宮崎市観光案内所

案内所利用者人数：30,963名（前年比102.1%）

内 訳：日本人20,313名 外国人10,650名（日本人99.5% 外国人107.5%）

※前年度：30,307名（内 訳：日本人20,403名 外国人9,904名）

- 1) 宿泊施設有料案内：81組 135名（前年度102組 157名）
- 2) 定期観光バス予約受付数：53名（内 訳：大人52名 小中高1名）
- 3) VISIT MIYAZAKI BUS PASS・宮崎交通バスカード等の販売（3種類）：11,039枚
- 4) MIYAZAKI ENJOY TICKET(香港)の販売：49枚（販売期間：平成30年7月～9月）
- 5) 物販等：青島恋旅チケット、観光名刺、天孫降臨ヒムカイザーDVD、ポストカード、宮崎で遊ぼうクーポン、ガチャマシン

6) 研修会の参加

- ・第1回アクセシビリティ向上セミナー

期 日：平成30年11月14日

- ・九州観光案内所スタッフ研修会及び意見交換会（福岡県）
期 日：平成30年12月11日
 - ・インバウンドおもてなし研修会
期 日：平成30年12月12日／平成31年1月25日
 - ・J N T O認定外国人観光案内所全国研修会（東京都）
期 日：平成31年2月21日～22日
- ②青島インフォメーション管理運営事業（宮崎市観光・神話ガイドボランティア協議会 運営）
ガイド案内件数：276件（前年度237件 前年比116.5%）
年間の稼働日数：350日 勤務スタッフ 1名
青島神社までのガイドを中心に、観光客への青島地区の観光案内を行った。
- ③江田神社待機所（宮崎市観光・神話ガイドボランティア協議会 運営）
ガイド案内件数：436件（前年度401件 前年比108.7%）
年間の稼働日数：350日 勤務スタッフ 1名

6. おもてなしボランティア事業

平成12年に宮崎市観光ガイドボランティア協議会が設立されて以降、神話ガイドボランティア協議会の設立などを経て、組織運営面や事業など活発なガイド活動を行ってきた。その結果、案内客数、受付件数共に増加している。「宮交ボタニックガーデン青島」の待機ガイド活動も順調に推移しており、受入体制の充実に繋がった。

(1) ガイドボランティア

青島神社 毎日（年末年始を除く）9:30～12:00 13:00～15:30
 江田神社 毎日（年末年始を除く）9:30～12:00 13:00～15:30
 宮崎神宮 毎週火・水曜日（年末年始を除く）9:30～12:00 13:00～15:30
 平和台公園 毎週木・金曜日（年末年始を除く）9:30～12:00 13:00～15:30
 ガイド案内者数：9,843名（有料ガイド：3,778名 無料ガイド：6,065名）
 （前年度7,131名 前年比138.0%）
 ガイド受付件数：1,982件（有料ガイド：233件 無料ガイド：1,749件）
 （前年度1,332件 前年比148.8%）
 ボランティア登録数：59名（平成31年3月31日現在）

(2) 宮崎市観光・神話市民大学の開催

神話に精通された専門家の方の講演を通して、宮崎の神話を学び郷土の再発見に繋がった。
 期 日：平成30年7月21日
 講 師：宮崎神宮 権宮司 黒岩 明彦 氏
 演 題：「社会に生きる神武様」
 参 加 者：45名

7. 手ぶら観光周遊利用促進事業

飛行機や高速バス、鉄道を使い宮崎に訪れた観光客の観光に要する時間を延ばし、満足度向上を目指すことを目的に、国が推進する「手ぶら観光」に取り組み、受入体制の充実に努めた。
 スポーツプラザ宮崎 J E R S E Yでは、10月に「手ぶら観光共通ロゴマーク」の認定を受けた。
 また、サービスの利用促進のためPRや周知についても側面的に支援し、手ぶら観光サービスの周知とPRに努めた。

期 間：通年
 受 付 場 所：宮崎ブーゲンビリア空港・スポーツプラザ宮崎 J E R S E Y
 利 用 料 金：手荷物配送 1,000円/個（ホテルまでの当日配送）
 一時預かり 500円/個（宮崎ブーゲンビリア空港のみ）
 配送事業者：ヤマト運輸(株)
 利 用 実 績：宮崎空港内手ぶら観光カウンター 746件 一時預かり 951件
 スポーツプラザ宮崎 J E R S E Y 24件
 （前年比 手荷物配送246% 一時預かり157%）

8. 青島エリア周遊促進事業

青島地区の夏季魅力アップの一環として、青島の宿泊施設と堀切峠、道の駅フェニックスを結ぶ「青島周遊バス」が運行され、広報活動の支援を行った。

運行期間：平成30年7月21日～9月2日

運行ルート：ANAホリディ・イン リゾート宮崎～道の駅フェニックス

乗車実績：269名

II. 観光イベント推進事業

観光客を対象とした、南国ムードを生かした魅力ある宮崎の観光資源をPRするイベントの開催や支援、また、新たな誘客素材の掘り起しと開発を行うなど、地域活性化に努めた。平成30年度は、本市出身のボーカルが所属する人気音楽バンド「コブクロ」のデビュー20周年を記念して野外ライブが開催され、会場で本市の観光と食を広くPRし、賑わい創出や宿泊客の増加に努めた。

1. みやざき青島国際ビールまつり

中国山東省青島市との友好盟約締結から14年目。オープニングセレモニーとして観光友好盟約セレモニーを実施し、記念品の交換等を行った。各種ステージや花火、宮崎のグルメなどで子供から大人まで多くの来場者で賑わった。

期間：平成30年8月25日～26日（2日間）

会場：こどものくに

来場者：4,830名（25日2,329名／26日2,501名）

主催：みやざき青島国際ビールまつり実行委員会（事務局：こどものくに）

2. みやざきグルメとランタンナイト開催支援事業

夏休み期間中の誘客対策として、今年で8回目の開催。約10,000灯のランタンで彩られた会場では、「宮崎牛」などの宮崎グルメはもちろん、全国の旨いものが期間中延べ約60店舗出店した“全国グルメ博2018”などエリアごとに様々なグルメ企画が軒を連ねた。

期間後半に、台風の影響により1日間の臨時休園を余儀なくされたが、それ以降は天候にも恵まれ県内外から多くの来場者があった。

期間：平成30年8月3日～19日（17日間 ※台風15号の影響により1日 臨時休園）

会場：フローランテ宮崎

来場者：76,957名（前年度76,703名 前年比100.3%）

主催：みやざきグルメとランタンナイト実行委員会（事務局：(公社)宮崎市観光協会）

3. 行事負担金

実績：8件（青島太平洋マラソン大会 みやざき納涼花火大会 他）

第32回青島太平洋マラソン大会

宮崎市の中心市街地を疾走できるコースとして人気を有し、近年のランニングブームなどに伴い、全国的にも人気の大会として定着。県外からの参加者も多く期間中は宿泊施設も満室となるなど、地域経済にも大きく寄与している。

同時開催：第27回国際視覚障害者マラソン宮崎大会

期日：平成30年12月9日

コース：フルマラソン・10km・3km

参加者：12,198名（県外：5,901名／県内：6,297名）

4. フラおもてなし誘客推進事業

フラと宮崎市の南国情緒を融合し、「フラのメッカ宮崎」のイメージを定着させるとともに、宮崎を訪れる観光客等に対してフラによるおもてなしを行った。

3月に開催されたイベントには、当協会からも支援金を拠出し、賑わいの創出に努めた。

- (1) 宮崎ブーゲンビリア空港におけるおもてなしフラ
- ①ブーゲンビリアプレゼントにおける歓迎フラ
- 期 日：平成30年5月19日
- 場 所：宮崎ブーゲンビリア空港 オアシス広場
- ②空の日イベントにおける歓迎フラ
- 期 日：平成30年10月28日
- 場 所：宮崎ブーゲンビリア空港 オアシス広場
- (2) ニシタチ焼酎楽しまN i g h tにおけるおもてなしフラ
- 期 日：平成30年7月21日
- 場 所：一番街モナコセンター前
- (3) プロ野球キャンプ関連おもてなしフラ
- 期 日：平成31年2月2日
- 場 所：K I R I S H I M A ヤマザクラ宮崎県総合運動公園（読売巨人軍）
- 期 日：平成31年2月3日・9日
- 場 所：宮崎市清武総合運動公園（オリックス・バファローズ）
- 期 日：平成31年2月23日
- 場 所：宮崎市生目の杜運動公園（福岡ソフトバンクホークス）
- (4) 「K a L a I K a H i k i n a H u l a F e s i n 宮崎」プレイイベント
- 期 日：平成31年3月23日
- メイン会場
- 場 所：フローランテ宮崎
- 内 容：フラ・エキシビジョン ※宮崎 フラと食のマーケットを同時開催
- 第二会場
- 場 所：青島神社
- 内 容：奉納フラ

5. 新規事業開発事業

総務企画委員会において、新規事業(案)として短期・中期・長期的な課題について、協議を重ね、すぐに事業として取り組めるものについては、2019年度新規事業として、滞在型観光の更なる推進を目標とした事業の組み立てを行った。

また、県北エリア（延岡市、日向市、高千穂町）の各観光協会と周遊型観光の推進についての意見交換を行い、相互の機関紙による観光情報の発信や「宮崎で遊ぼうクーポン」への参画を依頼した。

(1) 観光誘客イベント時観光PR支援事業

本市出身のボーカルが所属する人気音楽バンド「コブクロ」のデビュー20周年記念野外ライブに於いて、来場者に向けた観光物産展を実施。

- 名 称：K O B U K U R O 2 0 t h A N N I V E R S A R Y L I V E I N M I Y A Z A K I
- 期 日：平成30年9月16日
- 会 場：宮崎市生目の杜運動公園
- 内 容：宮崎物産展、飲食・お土産店 11店舗（テント14張）
宮崎たべてんコブクロライブ特別号の20,000部の配布
市街地での賑わいの創出
観光PRブースの展開（各種観光パンフレットの配布、観光PR映像の放映、タペストリーの設置）

6. みやざきふるさと食材アピール事業

宮崎たべてん秋冬号・春号に掲載のグルメキャンペーン参加店で飲食し、スタンプを獲得すると「スポーツプラザ宮崎JERSEY」で抽選会に参加できる企画を実施。抽選で宮崎の特産品を贈呈し、宮崎の食のPRを図った。

- 期 間：平成30年9月15日～平成31年1月31日（秋・冬号）
平成31年1月25日～3月31日（春号）

Ⅲ. スポーツ観光受入事業

プロ野球やJリーグキャンプ期間中、円滑なキャンプ受入環境の整備をはじめ、各種大会や合宿の実施に伴う支援体制の充実を図った。来宮した観光客の満足度を高め、利便性と周遊性の向上に努め、渋滞等の交通緩和対策や、歓迎ムードを盛り上げるために宮崎市内各所での賑わい創出に努めた。

1. キャンプ受入事業

(1) 福岡ソフトバンクホークス宮崎キャンプ受入事業

福岡ソフトバンクホークスのキャンプ観戦者が、安全でより快適に観戦できる環境を整えるために臨時駐車場の整備やシャトルバスの運行など様々な受け入れに取り組んだ。

【実施内容】

- ①警備（駐車場内、駐車場間誘導等）
- ②臨時駐車場の整備
- ③シャトルバス運行
- ④キャンプ地の告知、臨時駐車場の広報
- ⑤キャンプ期間中のカラーコーン、ゴムマットの設置
- ⑥路上駐車対策
- ⑦案内誘導看板の設置

(2) オリックス・バファローズ宮崎キャンプ受入事業

オリックス・バファローズの春季キャンプを実施するため、受入環境の充実に努めた。また、キャンプ観戦の来場者に、交通警備及び臨時駐車場の準備等を実施し快適な環境作りに取り組んだ。臨時駐車場と運動公園内第1駐車場で無料のシャトルバスを運行した。

【実施内容】

- ①警備（駐車場内、駐車場間誘導等）
- ②臨時駐車場の整備（清武谷ノ口農村公園、清武総合支所裏河川敷、宮崎大学木花キャンパス）
- ③シャトルバス運行（第1駐車場～臨時駐車場間で平日1台、休日2台で運行）
- ④キャンプ地の告知、臨時駐車場の広報
- ⑤キャンプ期間中のプレハブやカラーコーン、ゴムマットの設置
- ⑥路上駐車対策
- ⑦案内誘導看板の設置

(3) 読売巨人軍宮崎キャンプ受入事業

読売巨人軍宮崎キャンプが円滑に運営できるようキャンプ地の環境整備や歓迎装飾、来場者に対して写真展やジャイアンツバスの運行などを行い、ジャイアンツタウンの周知及び賑わいの創出に努め、キャンプの継続実施対策としても努めた。

① ジャイアンツタウンの創出

1) ジャイアンツバスの運行

通年運行 バス2台 ※春季キャンプ中は、キャンプ地内のシャトルバスとして運行

2) エアポートボールパーク2019（空港展）

期 間：平成31年2月2日～28日

内 容：県内で春季キャンプを行うプロ野球5球団の写真展を宮崎ブーゲンビリア空港オアシス広場にて開催

3) 歓迎バナーの掲出

期 間：平成31年2月1日～28日

内 容：中心街の橋通りアーケード及び江平商店街、橋橋、南バイパスに掲出

掲出枚数：100枚

② 大型ビジョン導入・活用

読売巨人軍の春季キャンプ期間中、キャンプ地の飲食物ゾーン「ボールパークG」内に全天候型世界最高画質の271型のLED大型ビジョンを設置。効率良いキャンプ観戦として、リアルタイムでのキャンプ映像、練習映像を放映した他、宮崎観光情報や宮崎のPR動画、スポーツランドみやざきをPRする放映を行った。

期 間：平成31年2月1日～11日

場 所：KIRISHIMAヤマザクラ宮崎県総合運動公園サンマリスタジアム前「ボールパークG」

(4) 三球シャトル運行支援事業

①三球シャトルバスの運行

野球ファンにより宮崎市を楽しんでもらう環境と周遊性を高めるとともに、交通対策の一助として、3球団のキャンプ地を巡る無料シャトルバス「三球シャトル」を運行した。車内では、キャンプ地情報が分かる掲示物を装飾し、3球団連携事業CMや観光動画を運行中に放映し、スポーツランド宮崎のPRと宮崎の観光情報発信に努めた。

三球シャトルの運行：1日6往復×2ルート（土・日・祝日運行）

総乗車人員数：2,849名（前年度2,102名 前年比135.5%）

1)木花ルート：読売ジャイアンツ（木花）— オリックス・バファローズ（清武）

運行本数：60運行（5日間×6往復）

運行期間：平成31年2月2日・3日・9日・10日・11日

乗車人員：1,028名

2)生目ルート：福岡ソフトバンクホークス（生目）— オリックス・バファローズ（清武）

運行本数：108運行（9日間×6往復）

運行期間：平成31年2月3日～24日の土・日・祝日

乗車人員：1,821名

②スタンプラリーの実施

3球団のキャンプ地のうち、2つのキャンプ地でスタンプを押して応募すると、特産品が抽選で当たるスタンプラリーを実施。

期 間：平成31年2月1日～3月3日

応募総数：3,392名

商 品：A賞・サイン入りユニフォーム、B賞・球団グッズ、C賞・宮崎牛ステーキ、
D賞・日向夏、E賞・完熟きんかん

(5) プロ野球3球団連携事業

宮崎市内でキャンプを行うプロ野球球団は巨人、ソフトバンク、オリックスの3球団。

1市で3球団がキャンプを行うのは全国的にも本市だけであり、3球団合同での事業に取り組むことにより宮崎キャンプの話題性を高め、スポーツランド宮崎をより推進し、3キャンプ地の周遊性を図った。キャンプ期間中は、3球団連携のユニフォームを着用するなど、街全体で盛り上げムードを創出した。

①ロゴマークの制作・活用

宮崎市内で春季キャンプを実施している各球団のロゴマークを使用した「宮崎キャンプ3球団連携ロゴマーク」を制作。記念グッズや歓迎看板、ホームページなどに活用することにより、キャンプ地宮崎の更なるPRを行った。

②グッズ製作

1) 3球団連携ロゴマーク入りグッズの製作・販売

ブランケット、ネックウォーマー、フェイスタオル、ピンバッジを製作しキャンプ地等にて販売を行い、宮崎市のプロ野球チームとの関係性の強化や情報発信に努めた。

販売場所：3球団キャンプ地 スポーツプラザ宮崎 J E R S E Y

宮崎ブーゲンビリア空港内 エアポートボールパーク

売 価：ブランケット 2,200円 ネックウォーマー 1,500円

フェイスタオル 1,500円 ピンバッジ 700円

販売実績：ブランケット 148枚 ネックウォーマー 336枚

フェイスタオル 980枚 ピンバッジ 590個

③市街地盛り上げのためのユニフォーム・コースター製作

3球団連携ロゴ入りオリジナルユニフォーム、コースターを製作

キャンプ地のPRと歓迎気運を高める宮崎市内の各事業所等で活用。

1)ユニフォーム

製作数：300枚

活用方法：宮崎市内ホテルやキャンプ地周遊バスドライバー、駅、空港、フェリー乗り場のスタッフ等にて着用

2) コースター

製作数：22, 500枚

活用方法：「宮崎たべてん」掲載店で使用。キャンプ期間中の魅力アップに努めた。

④ イメージCM制作

前年キャンプの練習風景や宮崎の風景、特産品を組み合わせた「キャンプ地みやざき」イメージ動画を制作。キャンプ特設ホームページや街頭ビジョン（品川駅前、名古屋栄、宮崎市内）で放映の他、各球団の公式HPでも取り上げられた。

2. スポーツ等合宿・大会誘致受入事業

(1) スポーツ等合宿受入事業

スポーツ合宿、大会誘致を図ることを目的に、本市で合宿する各種スポーツ団体を対象に、バス経費の補助、宮崎県産の牛肉・豚肉・地鶏・フルーツやドリンクの贈呈をはじめとした受入、誘致セールスを行いスポーツランド宮崎の振興を図った。

① 関西地区や福岡地区の学生を対象としたセミナーの開催

期 間：平成30年9月26日～9月28日

内 容：(株)ヤングリゾート主催の合宿セミナーに参加し、各団体の合宿の現状についての報告や旅行会社のセールスを行った。

② 大学生や社会人の各種スポーツ団体の合宿受入

③ 各種大会・合宿団体へバス経費補助や特産品、ドリンクの贈呈

実績：スポーツ合宿贈呈数	137団体 (3, 814名)	(前年度108団体 4, 704名)
大会参加者	10大会 (2, 824名)	(前年度 10大会 1, 865名)
合 計	6, 638名	

3. Jリーグキャンプ誘致事業

Jリーグ宮崎キャンプの誘致を推進するために、宮崎市のスポーツアドバイザー川崎公村氏と連携し、積極的な誘致活動を行い、今年度は11チームの誘致に成功した。

4. みやざきゴルフパラダイス事業

宮崎市では、11月にダンロップフェニックストーナメントとLPGAツアーチャンピオンシップリコーカップ、3月にアクサレディスゴルフトーナメントin MIYAZAKIの計3大会が開催され、より多くのゴルフ観光客を取り込む事を目的に誘客促進を図った。

ゴルフパラダイスキャンペーンでは宮崎市近郊を含む18のゴルフ場と連携し、ゴルフプレー券や特産品、宿泊券などが当たるスタンプラリーを実施。また、JA宮崎中央ファン拡大委員会と連携し、両トーナメントへ野菜・果物の差し入れを行った。

10月初旬には、ポスター掲出キャンペーンとして、宮交グループ、フェニックス・シーガイア・リゾート、九州旅客鉄道(株)宮崎総合鉄道事業部と合同で県内道の駅やJR有人駅、各市町村観光協会へトーナメントと連携したポスターを掲出し、県内での周知展開を行った。

また、10月のJR宮崎駅鉄道の日イベントや11月の鹿児島おはら祭りではPRブースを設け、スナックゴルフ、宮崎たべてん・トーナメントチラシの配布を実施。更にメディアを訪問しトーナメントの誘客とみやざきゴルフパラダイスのPRを実施した。また、11月のトーナメント開催週には、トーナメントの結果と翌日のペアリングや「宮崎たべてん」を街中で配布し、両トーナメントの周知と関心を高め、誘客促進を図った。

ゴルフパラダイスキャンペーン特典期間：平成30年10月1日～平成31年1月31日

ゴルフパラダイスツアー特典期間：平成30年10月1日～平成31年3月31日

○プロモーション

JR宮崎駅鉄道の日イベント 期 日：平成30年10月27日

鹿児島おはら祭りPRブース設置 期 間：平成30年11月2日～3日

鹿児島メディア訪問 期 日：平成30年11月2日

(1) ダンロップフェニックストーナメント

宮崎ブーゲンビリア空港オアシス広場にて、前年度優勝者ケプカ選手の歓迎セレモニーを実施し、歓迎の挨拶や花束、レイ、記念品(太鼓)の贈呈を行った。ギャラリーサービスの向上を図るため、宮崎市こどもふれあい広場の運営や歓迎装飾を主とした事業を実施し、市内の幼稚園児を招待した。

大会期間：平成30年11月15日～18日

総観客数：17,971名(前年度17,813名)

わくわく探検ツアー：12名

託児所利用者：1名

園児招待：11月15日 芳士幼稚園 30名

11月16日 住吉幼稚園 51名

(2) LPGAツアーチャンピオンシップリコーカップ

LPGAツアー4大公式戦の1つとして毎年注目を集めるツアー最終戦。トーナメント会場となる宮崎カントリークラブ周辺に歓迎バナー・看板等を設置するとともに、ギャラリープラザへの支援、チャリティーパッチングコーナー、お楽しみ抽選会、インフォメーションの運営等を行い、ギャラリー向けのサービス充実を大会事務局と連携し実施した。

大会期間：平成30年11月22日～25日

総観客数：17,176名(前年度13,441名)

①トーナメントわくわく探検ツアーの実施

宮崎市立宮崎北中学校 中学2年生55名

②ギャラリープラザ内の支援

内容：ギャラリープラザ内の運営協力、ボランティアの募集・管理、宮崎観光PRブースの設営・運営

(3) アクサレディスゴルフトーナメント in MIYAZAKI

3月末の宿泊閑散期に開催され、7回目となった本大会には、プロ・アマ合わせ100名以上の選手と関係者やマスコミ、多くのギャラリーが観戦に訪れ、本大会を通して、宮崎市のゴルフ環境の良さや観光地の情報発信、歓迎装飾などの協力体制に努めた。本大会は、(株)テレビ宮崎が主催者として開催し、当協会も実行委員会の委員として参画している。

大会期間：平成31年3月29日～31日

総観客数：15,013名(前年度14,529名)

5. 観光スポーツイベント歓迎装飾事業

スポーツイベントが開催される期間、中心市街地及び北バイパス・南バイパスの道路付近に歓迎看板やバナー・フラッグを設置し、市民や宮崎を訪れた観光客に対しイベント開催ムードの醸成及び歓迎を目的に実施した。

10月：みやざきフェニックス・リーグ

11月：みやざきゴルフパラダイス

1月～2月：Jリーグキャンプ

2月：プロ野球春季キャンプ

2月：球春みやざきベースボールゲームズ

3月：アクサレディスゴルフトーナメント

IV. スポーツ観光セールス事業

プロ野球やJリーグチームの本拠地を訪問し、キャンプ地宮崎のPR及び宮崎キャンプへの誘客に努めた。また、旅行会社やスポーツ団体等に対して、宮崎が全国に誇るスポーツ施設や、全国有数の日照時間・温暖な気候など恵まれたスポーツ環境や支援・受入体制を提案し、スポーツランド宮崎の情報発信と受入体制の充実に努めた。

1. スポーツランド情報発信事業

京セラドーム大阪で開催されるオリックス・バファローズの試合観戦者に、「キャンプ地みやざき」をPRし、宮崎への誘客促進のために場内看板と外部向けビジョンを活用し観光情報を掲出・放映した。

期 間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

内 容：公式戦やライブのドーム来場者に看板等を利用して広報活動を行った。

3月～ 5月 みやざきフラワーマンス

6月～ 8月 みやざきグルメとランタンナイト

9月～10月 みやざきフェニックス・リーグ

11月～1月 みやざきゴルフパラダイス

2月 プロ野球キャンプ

2. キャンプ地みやざきスペシャルマッチ事業

宮崎市でキャンプを行っているJリーグチームの本拠地にて「キャンプ地みやざきスペシャルマッチ」を実施。観戦客への先着プレゼントやパンフレットの配布、大型ビジョンを使用した観光映像の放映等を通じて「キャンプ地みやざき」のPRを行った。

横浜F・マリノス

カ ー ド：横浜F・マリノス VS 名古屋グランパス

期 日：平成30年8月15日

場 所：日産スタジアム

結 果：1 対 2

入 場 者 数：24,527名

3. みやざきスペシャルゲーム開催事業

東京ドーム、福岡ヤフオクドーム、京セラドーム大阪で「みやざきスペシャルゲーム」を開催。観光パンフレットの配布や球場内ビジョンの活用や宮崎のテレビ局との連携を通し球場全体が「キャンプ地みやざき」と大きくアピールできるよう、ドーム入場者やマスコミに対し観光宮崎のPRを行った。また、開催前には、大阪・福岡のマスコミ等を訪問し事前の周知を行った。

中でも、京セラドーム大阪では、「キャンプ地みやざきシリーズ」として、宮崎のアピールを3日間行い、福岡ヤフオクドームでは、「みやざきスペシャルDAYS」と称し、物販の販売等、宮崎のPRに努めた。

(1) 京セラドーム大阪「みやざきスペシャルゲーム」

カ ー ド：オリックス・バファローズ VS 東北楽天ゴールデンイーグルス

期 日：平成30年5月12日

結 果：0 対 2

入 場 者 数：21,524名

応援団参加者：150名

(2) 東京ドーム「みやざきスペシャルゲーム」

カ ー ド：読売ジャイアンツ VS 横浜DeNAベイスターズ

期 日：平成30年5月20日

結 果：2 対 10

入 場 者 数：44,259名

応援団参加者：220名

(3) 福岡ヤフオクドーム「みやぎきスペシャルゲーム」

カ ー ド：福岡ソフトバンクホークス VS 千葉ロッテマリーンズ

期 日：平成30年7月1日

結 果：2 対 5

入 場 者 数：37,986名

応援団参加者：200名

5. スポーツセールス事業

宮崎市はスポーツ施設をはじめ、天候などもスポーツに適した環境であるため、プロスポーツをはじめ、アマチュアスポーツのキャンプ誘致を行った。また、プロ野球キャンプの県外移転を防ぐため、プロ野球関係者と密に連携を深めた。

V. 少年少女スポーツ大会支援事業

少年少女たちが、スポーツ大会を通じてスポーツ交歓や交流を図るほか、未来を担う子どもたちの健全な育成及びスポーツ振興に寄与することを目的に、ジュニアスポーツ大会の開催及び支援を行った。

1. みやぎきフェニックス・リーグ杯 少年少女サマーベースボールトーナメント

プロ野球の受入を中心として構築されてきた“スポーツランドみやぎき”だからこそ出来る大会を目指し、野球を通じて他県の少年少女との交流を深め、憧れのプロ野球選手が使用するグラウンドでのプレーが大きな目標となり、未来を担う子供たちの健全な育成に寄与する事を目的とする。

期 間：平成30年7月28日～30日

試合会場：宮崎市清武総合運動公園、KIRISHIMAヤマザクラ宮崎県総合運動公園、宮崎市生目の杜運動公園

参加チーム：宮崎県外14チーム(高知県2,福岡県2,佐賀県1,大分県2,熊本県3,鹿児島県4)

宮崎県内18チーム

2. ゴルフマンス観光推進事業

みやぎきゴルフマンス第13回宮崎ガスジュニアゴルフ選手権への支援。

主催は、宮崎ガス(株)、事務局を(株)宮崎放送で実施。

本事業は、宮崎のゴルフ観光とジュニアゴルファー育成のため、ダンロップフェニックストーナメント大会事務局からの寄付金により運営。

(1) ストロークプレーの部

期 日：平成30年9月15日

開催コース：宮崎カントリークラブ

参 加 者：138名

(2) マッチプレーの部

期 日：平成30年9月16日

開催コース：トム・ワトソンゴルフコース

参 加 者：8名((1)を勝ち抜いた男女上位各4名がマッチプレーの部に参加)

(3) レッスン会

期 日：平成30年9月16日

開催コース：フェニックスゴルフアカデミー

参 加 者：25名

収益目的事業

収1. スポーツプラザ宮崎 J E R S E Y 運營業務

1. スポーツプラザ宮崎 J E R S E Y の運營業務

宮崎駅西口 K I T E N ビル 1 階の「スポーツプラザ宮崎 J E R S E Y」では、プロ野球 1 2 球団を中心とした商品販売やキャンプ地宮崎に関連する展示物等の充実を図り、様々な企画を実施し、情報発信及び誘客に努めた。また、宮崎のおもてなし拠点として、観光に役立つ手ぶら観光サービスやレンタサイクルの貸出など、受入環境の充実にも努めた。

来 訪 数：1 9, 0 3 5 名

【平成 3 0 年度の主な取り組み】

- 5 月：東京ヤクルトスワローズへ復帰した、宮崎県出身の青木宣親選手の等身大パネルを設置。
- 6 月：オリックス・バファローズの宮崎初公式戦のチケットを販売。また、公式戦のチケット購入者、もしくは店内商品を一定額以上購入した方に、オリックス・バファローズオリジナルTシャツ（非売品）をプレゼント。
- 8 月：オリックス・バファローズ V S 北海道日本ハムファイターズ公式戦会場にて、販売ブースを設置し、出張販売を行った。
- 9 月：U 1 8 アジア野球選手権宮崎大会の実施に伴い、店内にて侍 J A P A N グッズの販売を行い、大会の盛り上げと集客を図った。
- 1 0 月：2 0 1 8 年プロ野球ファーム日本選手権宮崎大会のチケットを販売。更なる盛り上げを図るため、ファーム選手権グッズの販売、優勝ペナントの展示を実施。
みやざきフェニックス・リーグ期間中に特別企画として、一定額以上商品を購入し、アンケートに協力した方に、公式球（使用球）をプレゼント。フェニックス・リーグ街中スペシャルイベント開催に伴い、J E R S E Y の P R ステージでクーポンを配布。
クーポンを持参したお客様には、特別価格で公式球（使用球）をプレゼント。
フェニックス・リーグ期間中、アイビースタジアム、K I R I S H I M A サンマリンスタジアム宮崎の 2 球場にて、出張販売を行った。
- 1 2 月：年末年始特別企画として、購入金額に応じてガラポン抽選を行い、1 2 球団グッズをプレゼント。春季キャンプに向けての盛り上げを図った。
- 1 月：宮崎市でキャンプを行う 3 球団（巨人・ソフトバンク・オリックス）ロゴ入り・フェイスタオル・ブランケット・ネックウォーマー・ピンバッチを販売。
- 2 月：宮崎に縁のあるオリックス・バファローズの西村徳文監督、金田和之投手、山本由伸投手のトークショーを開催。県内外から約 1 5 0 名が参加。
モーニングキャンペーンと称し、特別営業時間に来店され、一定額以上商品を購入した方に、球団カレンダーをプレゼント。
アイビースタジアムで開催予定だった福岡ソフトバンクホークス V S オリックス・バファローズのオープン戦チケットを販売。また、オープン戦会場にて販売ブースを設置し、出張販売を行った。
冬の特別企画として、一定額以上の商品を購入した方に、ヤフオクドームで開催される福岡ソフトバンクホークスオープン戦内野自由無料入場券をペアでプレゼント。
春季キャンプ期間中に商品を購入されたお客様には、3 月に使えるお得な特別クーポンを配布。
- 3 月：球春到来、ガラポン抽選会を実施。購入金額に応じて 1 2 球団グッズをプレゼント。

収 2. プロ野球公式戦・オープン戦等の開催事業

1. プロ野球オープン戦等開催業務

(1) 2018プロ野球ファーム日本選手権

本市で6年連続8回目のプロ野球ファーム日本選手権を開催。宮崎市でキャンプを実施する読売ジャイアンツと阪神タイガースが対する伝統の一戦となった。昨年より実施している国歌斉唱者の公募や、県内の少年野球チームなどの招待事業も行ったほか、新たに特典付きの企画チケットの販売も行い、大会の盛り上げに努めた。

期 日：平成30年10月6日

場 所：KIRISHIMAサンマリスタジアム宮崎

カ ー ド：読売ジャイアンツ VS 阪神タイガース

結 果：4 対 8

観 客 数：5,397名

(2) プロ野球オープン戦の開催

ホークスの九州移転30周年を記念して、宮崎県では、2015年2月以降4年ぶりの開催となった。当日は、チケットも完売するなど多くの来場者が訪れたが、試合開始の直前に雨天のため中止となり、払い戻し作業等に追われた。

名 称：木挽BLUE Presents 2019プロ野球オープン戦

期 日：平成31年2月24日

場 所：宮崎市生目の杜運動公園アイビススタジアム

カ ー ド：福岡ソフトバンクホークス VS オリックス・バファローズ

結 果：試合前中止 グラウンドコンディション不良のため

法人会計

1. 会議の開催

(1) 定時総会 平成30年6月22日

(平成29年度事業報告、収支決算、平成30年度事業計画、収支予算、理事及び監事の選任について、他)

(2) 理事会

第1回 平成30年6月5日

(平成29年度事業報告、収支決算、平成30年度事業計画、収支予算、平成30年度定時総会の開催について、他)

第2回 平成30年10月18日

(給与規程の変更について、会長、副会長、専務理事・常務理事(業務執行理事)の職務執行状況について、主な事業の報告について、他)

第3回 平成31年3月20日

(平成30年度補正予算(案)、2019年度事業計画(案)、収支予算(案)について、規則等の改正(案)について、

会長、副会長、専務理事・常務理事(業務執行理事)の職務執行状況について、他)

(3) 総務企画委員会

第1回 平成30年5月30日

(観光功労者の選考について、平成29年度事業報告、決算報告について、2019年度新規事業(案)について、他)

第2回 平成30年7月25日

(2019年度新規事業(案)について、他)

第3回 平成30年9月12日

(2019年度 新規事業(案)について、他)

第4回 平成31年3月15日

(平成30年度補正予算(案)について、2019年度事業計画(案)及び収支予算(案)について、他)

(4) 監事会 平成30年5月22日

(事業及び会計の監査)

(5) 会長・副会長会議

第1回 平成30年12月19日

(フラフェスティバルの開催について、(公社)宮崎市観光協会のリブランディングについて)

第2回 平成31年2月21日

(平成31年度事業予算(案)について、(公社)宮崎市観光協会のリブランディングについて)

2. 観光功労者の表彰

期 日：平成30年6月22日

受賞者：個人3名

3. (公社)宮崎市観光協会リブランディング

(公社)宮崎市観光協会の愛称およびロゴ・マークのリニューアルに伴う募集の実施。

募 集 期 間：平成31年1月15日～2月15日

参 画 依 頼：会員(印刷・広告代理店枠)37社

参 画 企 業：17社(37社中)

内 容：団体名ロゴ作成 マークの変更 愛称(略称)

運用開始日：平成31年4月1日～

4. 健康宣言

全国健康保険協会が行う取り組みに賛同し、健康宣言優良事業所として「銀」の認定を受けた。

職員が心身ともに元気に働ける健康づくりを目指し毎朝ラジオ体操を実施。

会員数

平成30年3月31日	正会員	325会員
	賛助会員	4会員
	合 計 会 員	329会員

平成30年度増減内訳	正会員増	12会員
	正会員減	4会員
	合 計 会 員 増減	8会員

平成31年3月31日	正会員	333会員
	賛助会員	4会員
	合 計 会 員	337会員

その他関連事業（協力会等）

1. プロ野球公式戦宮崎実行委員会

本市にて春季キャンプを実施しているオリックス・バファローズ初の宮崎での公式戦を実施。宮崎県では4年ぶりの公式戦となり、初めて夏季に開催した。事前のプロモーションとして、球団の協力のもと、春季キャンプ期間中や京セラドーム大阪のビジョンを活用したCM活動を実施。

また、地元マスコミへの出演や宮崎市観光協会の定時総会でのアトラクションなども行い、開催への盛り上げを行った。当日は、B s G i r l s やマスコットも出演し会場を盛り上げた。

また、夏季のイベントということで、花火の打上や平日のナイター開催ということで、関係各所の協力のもと、臨時列車・バスの運行や誘導看板の設置も行い、交通対策も行った。

野球事業を通してのスポーツ振興を行うため、少年野球・ソフトボールや高校球児を対象とした招待事業も行った。

期 日：平成30年8月28日

場 所：K I R I S H I M A サンマリンスタージアム宮崎

主 催：プロ野球公式戦宮崎実行委員会

[宮崎県、宮崎県教育庁、宮崎市、延岡市、串間市、

(公財)みやざき観光コンベンション協会、(公社)宮崎市観光協会、UMKテレビ宮崎]

特別協賛：W A S H ハウス(株)

カ ー ド：オリックス・バファローズ V S 北海道日本ハムファイターズ

試合結果：0 対 4

観 客 数：20,480名

2. 球春みやざきベースボールゲームズ実行委員会

(1) 球春みやざきベースボールゲームズ

既存キャンプ球団の継続及び期間の長期化のためには、キャンプ期間中の実戦形式の練習環境が重要であることから、他県でキャンプを張るチームへ宮崎での練習試合開催を呼び掛け、7回目の開催となった。本県でキャンプを行う福岡ソフトバンク、オリックス、埼玉西武、沖縄でキャンプを実施している千葉ロッテ、東北楽天の2球団に韓国プロ野球斗山ベアーズが加わり、6球団にて開催された。自治体及び団体が構成される「球春みやざきベースボールゲームズ実行委員会」が主催となり、当協会は、実行委員会の事務局として大会運営を行い、テレビ・ラジオなどのCM告知、新聞広告等を実施した。

期 間：平成31年2月26日～3月3日

参加チーム：福岡ソフトバンクホークス、オリックス・バファローズ

千葉ロッテマリーンズ、埼玉西武ライオンズ、東北楽天ゴールデンイーグルス

斗山ベアーズ(韓国プロ野球)

入 場 料：全試合無料

【試合結果】

○2月26日

福岡ソフトバンクホークス	1対2	東北楽天ゴールデンイーグルス	(アイビススタジアム)	観衆5,700名
オリックス・バファローズ	5対0	千葉ロッテマリーンズ	(SOKKENスタジアム)	観衆2,800名
埼玉西武ライオンズ	0対2	斗山ベアーズ	(サンマリノスタジアム)	観衆900名

○2月27日

福岡ソフトバンクホークス	3対8	埼玉西武ライオンズ	(アイビススタジアム)	観衆5,700名
オリックス・バファローズ	8対4	斗山ベアーズ	(SOKKENスタジアム)	観衆1,000名
東北楽天ゴールデンイーグルス	0対12	千葉ロッテマリーンズ	(サンマリノスタジアム)	観衆1,700名

○2月28日

福岡ソフトバンクホークス	0対2	千葉ロッテマリーンズ	(アイビススタジアム)	観衆4,000名
オリックス・バファローズ	0対3	埼玉西武ライオンズ	(SOKKENスタジアム)	観衆1,800名
東北楽天ゴールデンイーグルス	6対2	斗山ベアーズ	(サンマリノスタジアム)	観衆400名

○3月2日

オリックス・バファローズ	13対2	東北楽天ゴールデンイーグルス	(SOKKENスタジアム)	観衆3,800名
--------------	------	----------------	---------------	----------

○3月3日

オリックス・バファローズ	対	東北楽天ゴールデンイーグルス	(SOKKENスタジアム)	雨天中止
--------------	---	----------------	---------------	------

2. 読売巨人軍宮崎協力会

(1) 読売巨人軍キャンプ受入事業

秋季・春季キャンプを行う読売巨人軍の歓迎式を行うとともに、サンマリノスタジアム宮崎横に飲食・販売ブース「ボールパークG」を開設した。また歓迎装飾やステージイベントを行う等、歓迎ムードや賑わいを創出した。

秋季キャンプ：平成30年10月31日～11月18日

観客数：未発表

春季キャンプ：平成31年2月1日～11日（一軍選手）

平成31年2月1日～26日（二軍選手）

平成31年2月13日～28日（三軍選手）

観客数：164,000名（※2月1日～11日の観客数）

(2) 屋内型ブルペン「サンライズブルペン」完成セレモニーの実施

キャンプ施設の設備機能の向上を図る事で、読売巨人軍の継続的かつ充実したキャンプの実施と、観客数の増加等を目的として、サンライズブルペンを設置。キャンプ実施前に、県内関係者及び球団関係者と共に完成セレモニーを行った。

期 日：平成31年2月1日

場 所：KIRISHIMAサンマリノスタジアム宮崎横 サンライズブルペン

3. 福岡ソフトバンクホークス宮崎協力会

(1) 福岡ソフトバンクホークスキャンプ受入事業

3年連続日本一を目指す福岡ソフトバンクホークスが秋季・春季キャンプを実施。キャンプ地宮崎市生目の杜運動公園内に飲食・物販ブース「ホークスビレッジ」を開設した。また、球団の激励や歓迎装飾、ステージイベントを実施し、歓迎ムードや賑わいを創出した。

さらに、平成30年度よりキャッシュレスサービス「PayPay」をホークスビレッジ全店舗で導入し、来場者の利便性向上に取り組んだ。

秋季キャンプ：平成30年11月1日～17日

観客数：未発表

春季キャンプ：平成31年2月1日～28日

観客数：330,900名

PayPay利用実績：全体売上の約2%

(2) 「福岡ソフトバンクホークス歓迎パレード in みやざき」の開催

平成30年シーズンにて2年連続日本一を果たしたチームの歓迎と、次シーズンの連続日本一を祈願して、宮崎市中心部でのパレードを実施した。

期 日：平成31年1月31日

場 所：宮崎市橋通り（橋通1丁目交差点～デパート前交差点～橋通1丁目前交差点）

観 客 数：50,000名

4. オリックス・バファローズ宮崎協力会

キャンプ地宮崎市清武総合運動公園内にて、5回目となる春季キャンプを実施。キャンプ期間中には、飲食・物販ブース「バファローズタウン」を開設し、歓迎装飾やステージイベントなどの各種イベントを実施し、歓迎ムードや賑わいを創出した。キャンプの休養日には、学校訪問や養護施設を訪問する等、キャンプ地ならではの受入を行った。

春季キャンプ：平成31年2月1日～3月3日

観 客 数：114,200名

5. Jリーグ等宮崎協力会

Jリーグ等のサッカーキャンプに伴い、空港や練習会場等での歓迎や特産品の差し入れを行い、歓迎看板及びフラッグを設置し歓迎ムードを高め、グラウンド整備をはじめとした受入体制の充実に努めた。また、横浜F・マリノス主催による県内指導者向けの講習会を実施し市民との交流を図った。

(1) 春季キャンプ11チーム（※キャンプインの順番で滞在期間を掲載）

①鹿島アントラーズ（J1）

期 間：平成31年1月21日～2月1日

場 所：KIRISHIMAハイビスカス宮崎県総合運動公園陸上競技場

②アビスパ福岡（J2）

期 間：平成31年1月22日～2月9日

場 所：宮崎市生目の杜総合運動公園陸上競技場

③徳島ヴォルティス（J2）

期 間：平成31年1月22日～2月4日

場 所：KIRISHIMAヤマザクラ宮崎県総合運動公園ラグビー場

④大宮アルディージャ（J2）

期 間：平成31年1月28日～2月5日

場 所：KIRISHIMAヤマザクラ宮崎県総合運動公園サッカー場

⑤ツエーゲン金沢（J2）

期 間：平成31年1月29日～2月16日

場 所：宮崎市清武総合運動公園

⑥横浜F・マリノス（J1）

期 間：平成31年1月30日～2月10日

場 所：シーガイアスクエア1

⑦FC岐阜（J2）

期 間：平成31年2月1日～12日

場 所：KIRISHIMAヤマザクラ宮崎県総合運動公園ラグビー場 他

⑧セレッソ大阪（J1）

期 間：平成31年2月4日～12日

場 所：宮崎市国際海浜エントランスプラザ

⑨ファジアーノ岡山（J2）

期 間：平成31年2月9日～16日

場 所：生目の杜総合運動公園陸上競技場・KIRISHIMAヤマザクラ宮崎県総合運動公園サッカー場

⑩ベガルタ仙台（J1）

期 間：平成31年2月9日～16日

場 所：KIRISHIMAハイビスカス宮崎県総合運動公園陸上競技場

⑪セレッソ大阪U-23（J3）

期 間：平成31年2月16日～24日

場 所：宮崎市国際海浜エントランスプラザ

(3) チーム本拠地への表敬訪問

①ファジアーノ岡山 期 日：平成30年6月17日

②鹿島アントラーズ 期 日：平成30年8月 5日

③横浜F・マリノス 期 日：平成30年8月15日

(4) 市民交流サッカー教室

ク ラ ブ：横浜F・マリノス

期 日：平成31年2月1日

参 加 者：県内指導者約90名

6. みやざきフェニックス・リーグ支援実行委員会

イースタン6球団で開始したプロ野球秋季教育リーグは、平成21年度からみやざきフェニックス・リーグと名称を変え、ファーム全12球団、四国アイランドリーグ選抜Plus、韓国プロ野球3球団を加え合計16球団の参加となり年々盛り上がりを見せている。また、歓迎ムードを高めるため歓迎バナーの掲出、街中イベントの開催などを行った。

期 間：平成30年10月8日～29日（22日間）144試合

実施試合：143試合（1試合がグラウンドコンディション不良のため中止）

場 所：アイビススタジアム、SOKKENスタジアム、サンマリスタジアム宮崎 他県内各球場（計：10球場）

来場者数：33,210名（前年度15,596名 前年比212.9%）

7. 渚の交番青島プロジェクト実行委員会

(1) 宮崎市青島ビーチセンター指定管理業務（渚の交番）

（公社）宮崎市観光協会と（特非）宮崎ライフセービングクラブが、共同で運営し7年目を終えた。本施設の運営目的は、宮崎のマリンスポーツやビーチスポーツの拠点として、観光客や市民等が活用できる環境を整えるもので、通年で営業を行っており、イベント等の実施やシャワー・ロッカー等の貸し出し、青島地区の地域振興にも寄与していくとともに、他団体とのネットワークを構築し様々な事業を展開した。

【主な行事】

平成30年5月～12月 みやざき元気体験受入 （利用者数 225名）

平成30年4月～平成31年3月 アウトドアフィットネス開催 （参加者 135名）

平成30年4月～平成31年3月 施設利用者サポート （利用者数 4,355名）

平成30年7月7日～9月2日 青島海水浴場管理運営業務委託

平成30年12月9日 青島太平洋マラソンの給水ポイントとしての運営協力

【年間状況】

年間施設利用者数：146,446名（前年度130,707名 前年比112.0%）

(2) 青島海水浴場管理運営業務

宮崎市青島ビーチセンターの指定管理業務運営に伴い、渚の交番青島プロジェクト実行委員会（（公社）宮崎市観光協会・（特非）宮崎ライフセービングクラブと協同運営）で、夏季青島海水浴場の管理運営業務を受託し、期間中の海水浴場の管理・運営及び集客に努めた。

平成30年度も青島ビーチパークがオープンし飲食店や休憩設備が整い、利便性の向上を図った。更には、台風の接近による影響を受けたが、青島ビーチの地形とライフセーバーの努力により、遊泳禁止を最小限に抑えることができた。

開設期間：平成30年7月7日～9月2日 日数58日間（全日遊泳禁止日3日間）

来場者数：191,633名（前年度164,870名 前年比116.2%）

救助件数：186件 250名（安全移送、迷子、軽溺救助、その他）

救護状況：659件（クラゲ刺され、虫さされ、切り傷、擦過傷、その他）

(3) 青島ビーチ魅力アップ事業

青島の観光素材を生かし賑わい創出と海水浴場利用者の利便性の向上を図るため、早朝から夜間まで幅広いお客様に楽しんで頂ける場所「青島ビーチパーク」を開設した。貨物コンテナを改造したコンテナハウスショップを展開し、一般公募から選出した飲食4店舗、物販1店舗を設置。4年目となる平成30年度は、運営の一部を(株)STAY.Cへ委託し事業を展開した。開設期間中は音楽コンサートや映画の鑑賞やヨガイベント等を実施し集客に努めた。平成30年度は、ゴールデンウィーク前から10月第1週までオープンし、約5ヶ月営業した。

主 催：渚の交番青島プロジェクト実行委員会

[構成団体](特非)宮崎ライフセービングクラブ、(公社)宮崎市観光協会

期 間：平成30年4月20日～10月8日

入 場 料：無料

営業日数：149日 定休日15日 臨時休業8日※台風接近のため

場 所：青島海水浴場 渚の交番東側公園内

来場者数：108,509名 (海水浴場来場者191,633名)

(前年度153,122名)

1日最高来場者数 4,045名 平成30年8月25日

運営委託：(株)STAY.C

出店店舗：5店舗 (POKE2489、BEACH LIVING、THE SHOKUDO、The Double Cafe、PHAT)